

24土建第 253 号

平成 24 年 11 月 16 日

相生山の自然を守る会

代表 近藤 国夫 様

名古屋市長 河 村 たかし

公開質問状について（回答）

平成 24 年 11 月 2 日付けの標記の件につきましては以下のように回答します。

質問 1

施工ワーキングでの各種モニタリングや植生回復は、土壌、植物、動物等の専門家の指導のもと、道路建設当初から行っております。また、道路建設により、コナラやヒノキを始め、多くの樹木に影響があるため、移植できるものについては移植を行う等、可能な限り環境への配慮に努めてきました。これらの活動等について、広報誌「施工ワーキングのススメ」で地域の方にお知らせしているところです。

質問 2

弥富相生山線では、周辺の自然環境や生態系への影響を軽減させるため、自然環境等の専門家で構成される「環境に配慮した道づくり専門家会」の指導のもと、「施工ワーキング」という市民も参加する仕組みにより、周辺自然環境に配慮した道づくりを進めてきました。

この取組みについて、「相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会」の報告書にも『道路工事の当初より継続して実施されている「施工ワーキング」という仕組みの中で、相生山緑地のデータを蓄積し正しく分析しながら対策を施していくことも一つの方法であろう。』と述べられています。

質問 3

地域への入り込みにつきましては、本年 2 月に車両のナンバープレートによる追跡調査を行いました。その結果から当該地域を通過する車両と、通過しない車両の台数を把握しております。

また、この地域では現在でも多くの交通規制が設けられており、今以上の規制は地域の方にさらなる不便を強いることとなります。現在この地域には規制を無視している車両以外にも数多くの車両が入り込んでいることから、まずはこの問題に取り組んでいく必要があると考えております。

質問4

取り締まり等につきましては、現地での状況確認や交通違反の取り締まりを行ったと所轄署から聞いております。

また前回の公開質問状の各項目に対しては以下のように回答します。

質問1

施工ワーキングの活動については、名古屋市が委嘱した「環境に配慮した道づくり専門家会」の指導のもと行っております。

質問2

施工ワーキングでは、道路建設が周辺環境に与える影響についてのモニタリングや植生回復に取り組んでおり、工事が中断している状況ではありますが、これらの取り組みは続けていく必要があると考えております。

質問3

施工ワーキングでの取り組み内容をお知らせすることにより、いろいろな意見をいただける機会にもなると考えております。

質問4

抜け道解決には、交通規制強化が必要であります。現在でも多くの交通規制が設けられているこの地域に対して、これ以上の規制は地域の方にさらなるご不便をおかけすることにもなり悩ましいところです。

質問5

地域の通過経路を調べるため、車両のナンバープレートによる追跡調査を行いました。都心方向と郊外方向の双方向の抜け道利用があり、さらにその約半分は付近にお住まいの方の利用となっていることが分かりました。そのため、単純な規制だけでは入り込みを解消することは難しく対策に苦慮しております。

質問6

まずは地域の課題である車両の入り込みについて取り組んで行くべきと考えております。

(緑政土木局道路建設部道路建設課)